

腰の痛みをあきらめない

悩める腰の救世主 BKPとはなんだろう？



イタタタタ！！歳だねえ。腰が痛くて
たまらないよ。腰も曲がってきちゃって。
これからもっと曲がってくるのかねえ。

背ぼねの『いつの間にか骨折』
かもしれないですね。それだったら大変！
今まではコルセットによる治療しかありま
せんでしたが、BKPという新しい治療法も
ありますよ。所要時間は30-40分。
出血はほとんどなくて、翌日退院も可能な
んです。



? なぜ背中丸くなるの？ 脊椎圧迫骨折について

・圧迫骨折は、潰れた状態でも骨がかたまれば、数ヶ月で
痛みは減ってゆきますが、背中が丸くなる原因になります。

・潰れた骨が固まらない場合には痛みが
残存するうえ、背中丸くなります。
ひどいと下肢に運動麻痺が生じることがあります。

そこでBKP



Balloon Kyphoplasty (経皮的椎体形成術) 【バルーンカイトプラスティ】とは

BKP治療の実際

- ・全身麻酔をかけてうつぶせで行います。
- ・背中2か所に約5mmの切開を加え、
レントゲン透視下に行います。
- ・充填したセメントは20分ほどで完全に固まります。

- ・手術後当日より、痛みに応じて動くことが可能です。
- ・退院は手術の翌日から可能ですが、状態に応じて判断します。



そうは言っても怖いなあ。
腰の曲がりはそのままだろう？
びいけいびいを行った人はいるのかね？

では、実際の症例をご覧ください。



BKPの治療効果

- ・術後、早い段階で腰痛が楽になることが期待できます。
- ・潰れた骨を可能なかぎり戻すことにより、
背中丸くなるのを抑える効果が期待できます。



症例：86歳女性 第2腰椎圧迫骨折

1ヶ月半の保存治療で痛みが改善しないどころか、
仰向けになることも困難、さらに起き上がれない、
寝返りも打てないという状態となり、当院へ紹介されま
した。

退院時
痛みなし



つぶれている
BKP
術後

骨が復元された

BKPを行ったところ術後1週間で
コルセットを着用して退院

BKP治療のリスク

BKPは専門のトレーニングを受けた医師により行われますが、
神経損傷や感染、さらに骨セメントを使用することにより
発生する肺塞栓症のリスクがわずかにあります。
また、となりの背骨がつぶれてくることもあり（続発性圧
迫骨折）、予防として骨粗しょう症の治療やコルセット治
療が必要です。続発性圧迫骨折が発生した場合にもBKPが必
要となる場合があります。

紹介状は必ずしも必要ではありません
是非一度ご相談ください

JINWAKAI 一般財団法人
仁和会総合病院
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-8-1



脊椎圧迫骨折の新しい治療法 BKP (経皮的椎体形成術)

Balloon Kyphoplasty (BKP: バルーン カイフォプラスティ)は、2011年1月より公的保険が適用となった比較的新しい治療法です。

1990年代にアメリカで開発され、これまでに世界で80万件以上の脊椎圧迫骨折に対して行われています。つぶれた背骨を風船でふくらませてセメントで固める治療です。

Kypho (カイフォ) というのは「後弯」という意味で、背中が丸くなること。

Plasty(プラスティ)は、「形成する」という意味であり、

BKP とは「バルーン(風船)を用いて、潰れた背骨を形成する。」ということです。

脊椎圧迫骨折について

転倒・転落などでおきますが、骨がもろくなっている場合には知らず知らずのうちに潰れてくる場合もあります。近頃ではCMで「いつの間にか骨折」などと表現されたりもします。

- ・ 圧迫骨折は、潰れた状態で骨がかたまれば(骨癒合すれば)数ヶ月で痛みは減ってきますが、背中が丸くなる原因になります。
- ・ 潰れた骨が固まらない(骨癒合しない)場合には痛みが残存するうえ、背中は丸くなります。ひどいと下肢に運動麻痺が生じる場合があります。

BKP の治療効果

- ・ 即時的な除痛効果
- ・ 潰れた骨を可能なかぎり戻すことにより背中が丸くなるのを矯正する効果

が期待できます。

BKP 治療の実際

- ・ 全身麻酔 うつぶせで行います。
- ・ **BKP** の所要時間は **30-40 分** 出血はほとんどありません。
- ・ 背中中の 2 か所に約 **5mm** の切開を加え、レントゲン透視下に行います。
- ・ 充填したセメントは **20 分** ほどで完全に固まります。
- ・ 手術後は当日より、痛みに応じて動くことが可能です。
- ・ 退院は手術の翌日から可能ですが、患者さんの状態に応じて判断します。

BKP治療の手術フロー



① 背中から針を刺入し、骨折した椎体への細い経路を作ります。そこへ小さな風船のついた器具を入れます。



② 椎体の中に入れた風船を徐々に膨らませ、つぶれた骨を持ち上げて、できるだけ骨折前の形に戻します。



③ 風船を抜くと、椎体内に空間ができます。その空間を満たすように、骨セメントを充填します。



④ 手術は1時間程度で終わり、骨セメントは手術中に固まります。

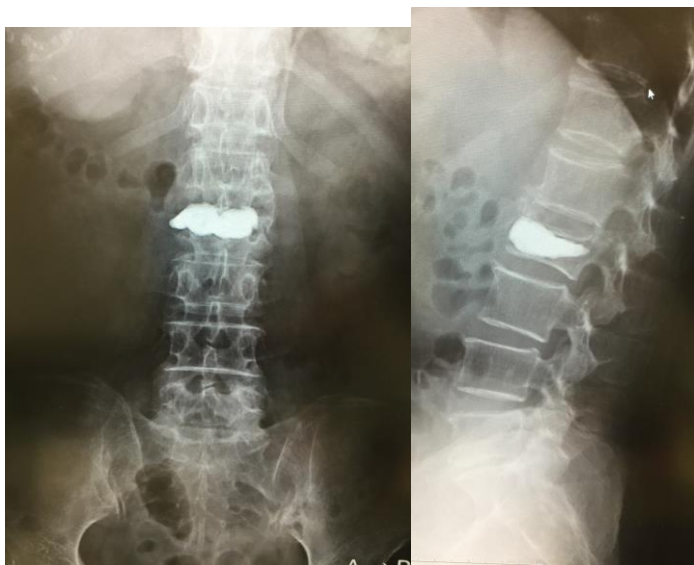
症例： 86歳 女性 第2腰椎圧迫骨折

1ヶ月半の保存治療で疼痛が改善しないどころか、
腰背部痛のため仰向けになることも困難、起き上がれない、寝返りも打てない
という状態となり紹介来院

術前腰椎単純レントゲンとCT



術後腰椎単純レントゲン



術後 1週間でコルセットを着用して退院 退院時には痛みなし。

BKP 治療のリスク

BKP は専門のトレーニングを受けた医師により行われますが、神経損傷や感染、さらに骨セメントを使用することにより発生する肺塞栓症のリスクがわずかにあります。

また、となりの背骨がつぶれてくることもあり（続発性圧迫骨折）、予防として骨粗しょう症の治療やコルセット治療が必要です。

続発性圧迫骨折が発生した場合にも BKP が必要となることがあります。

詳しくは、担当医にご相談ください。